

ペチカ焚き方（悪い例）

悪い例の写真は、乾燥の甘い薪をトロトロと長時間焚き続けることにより、完全燃焼せずに煤とタールが溜り、動脈硬化のような状態になっている。これらがある時突然燃え出すことで「煙道火災」が起きる。



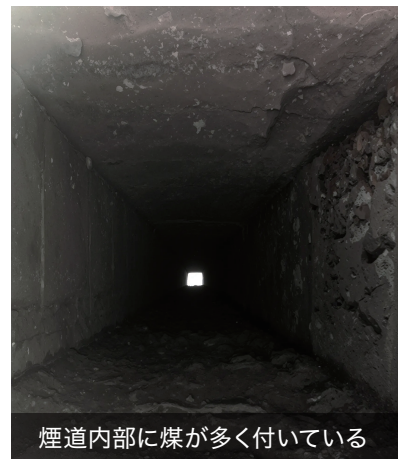
本体・煙突の目地や金物の隙間からタールが垂れ出している



本体から掻き出されたタールの塊



タールが固まり掃除口を塞いでいる



煙道内部に煤が多く付いている



煙道火災を起こした後の状態



煙道に煤がベッタリ付いた状態

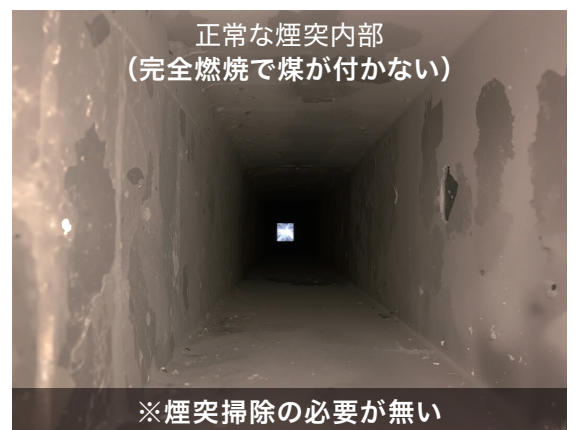
ペチカは良く乾燥した薪（出来れば燃焼温度の高い針葉樹）を**短時間に勢いよく燃やし完全燃焼させる**ことで、より多くの熱を本体レンガに蓄熱させ、24時間常に放熱させる仕組みの蓄熱式ストーブで、ゆったり炎を楽しむストーブではない。

株式会社 有賀製材所

— 1927 年創業 —

〒399-4501 長野県伊那市西箕輪2020番地
TEL.0265-73-3932 FAX.0265-73-8848

arugaseizai.com



正常な煙突内部
(完全燃焼で煤が付かない)

※煙突掃除の必要が無い